

MINNA

MINAMI-TOYAMA

MIRAI

南富山駅周辺
まちづくりビジョン

目次

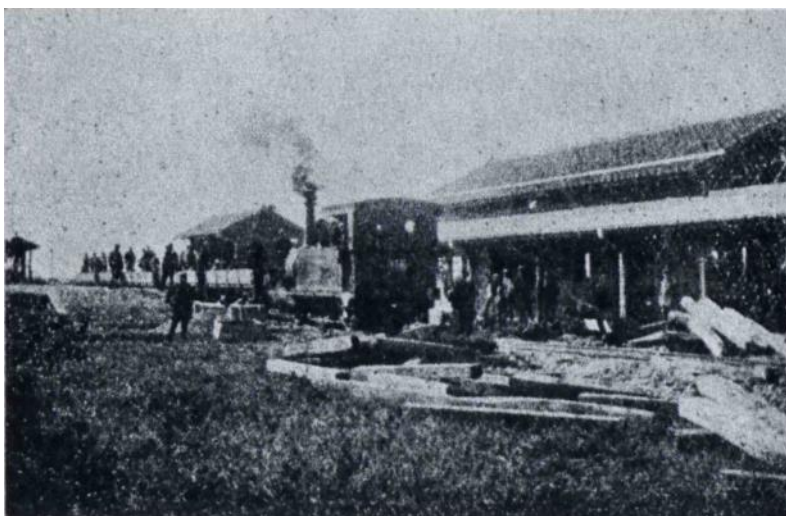
1. はじめに
2. ビジョンの概観
3. 南富山駅周辺エリアの“現時点”
4. エリアコンセプトと未来像
5. ビジョンの実現に向けて
6. 参考資料

1. はじめに

南富山駅周辺のこれまで

◎交通結節地である南富山の誕生

南富山駅は富山鉄道（富山－笹津間）の開業に伴い、1914（大正3）年に堀川新駅の名称で誕生し、市内軌道は1915（大正4）年に小泉町から延長される形で整備されました。当時から、富山高校や富山いずみ高校（旧富山女子高校）などの教育機関が立地し、文教地区であることや交通利便性の高さから居住地として選ばれ、賑わいのある駅前商店街や鉄道の利便性を活かした産業立地など、交通結節地としての南富山を活かしたまちが形成されていきました。



富山軽便鉄道開業当時の堀川新駅



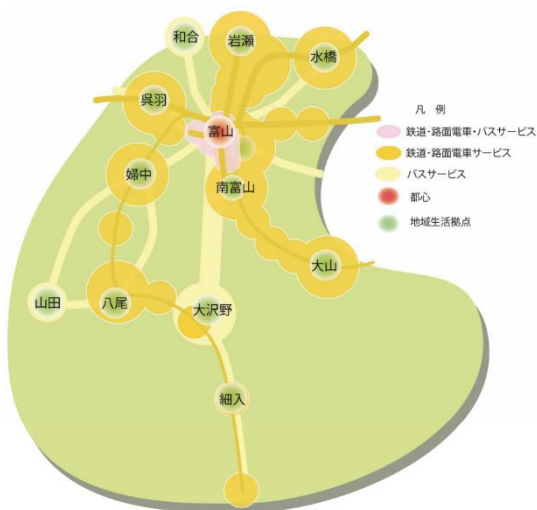
1961(昭和36)年頃の南富山駅

出典：写真でつづる富山地方鉄道50年の歩み

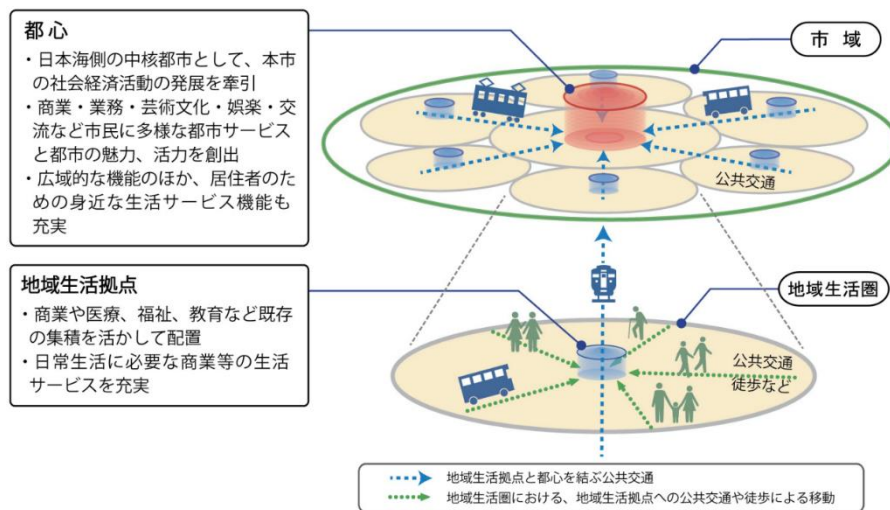
南富山駅周辺のこれまで

◎車社会の進展とコンパクトなまちづくり

市民の移動手段が公共交通から車中心となったことで、賑わいや買い物の場所、住まいのニーズも変化し、駅の持つ優位性が失われていきます。しかし、人口減少・少子高齢化の時代を迎え、将来も安心して暮らせるまちづくりが急務となりました。このため、富山市は公共交通の活性化と沿線への都市機能の誘導を目指す「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」への転換を図り、南富山駅周辺は重要な地域生活拠点として位置づけます。



富山市が掲げる「お団子と串」の都市構造



地域生活圏と拠点配置のイメージ

出典：富山市立地適正化計画（R5.11）

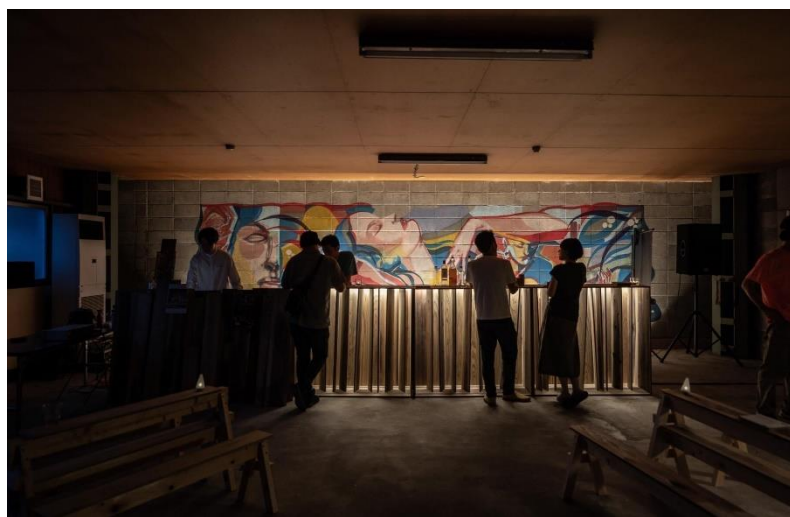
南富山駅周辺のこれまで

◎南富山らしさを高めて生み出す民間まちづくりの動き

こうした中、2016（平成28）年には有志からなる『南富山まちづくりを考える会』が発足し、まち歩きや駅前空間を活用した社会実験、民有地を活用したキッチンカーマルシェなど、地域課題に目を向け、賑わいや魅力を創出するための活動が進められていきます。さらに近年では、南富山のヒト・モノ・コトの交わりから生まれる可能性を探る、新たなプレイヤーによる活動も始まり、南富山らしさを活かしたまちづくりへの機運が高まっています。



駅前空間を活用した社会実験（考える会）



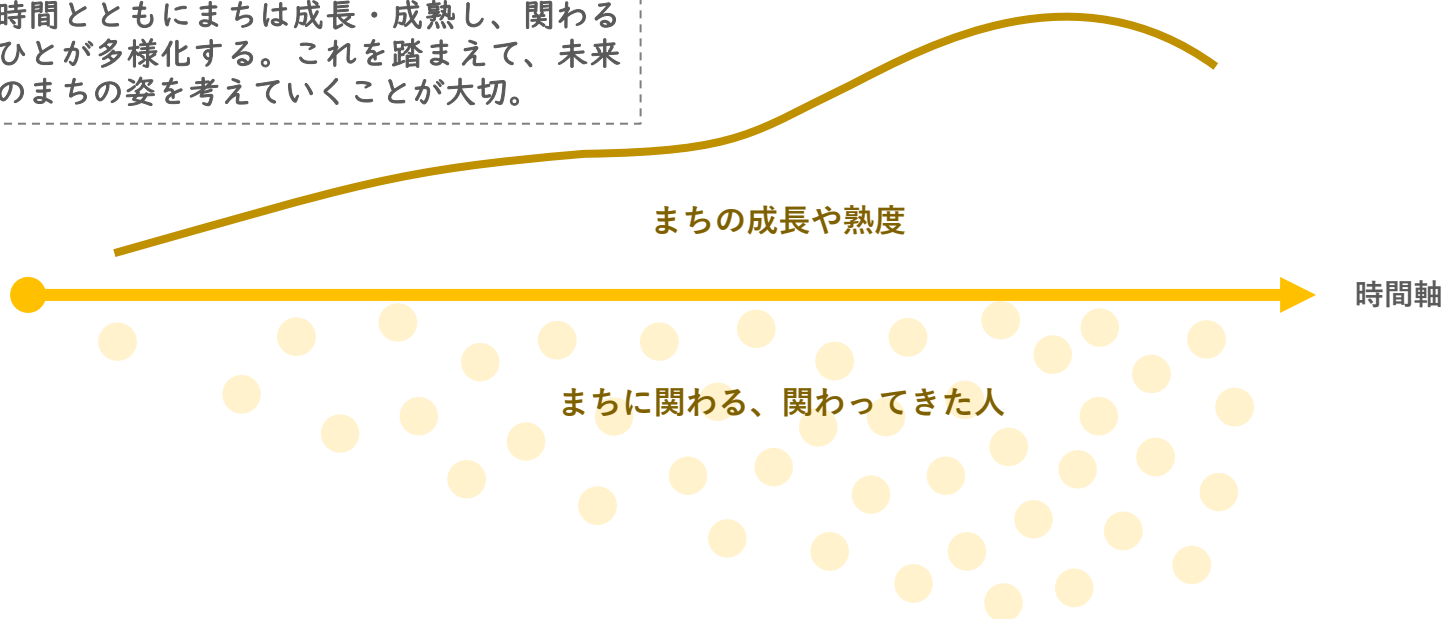
既存建築物を活用したBar企画（ハグちぐ hag-chig）

なぜビジョンを策定するのか？

◎すでに「まち」があり、多くの暮らす人や使う人（使ってきた人）が存在

このように、南富山はこれまでの歴史の積み重ねの中で、時代に応じて都市空間を変化させながら、まちが形成されています。そして、住まう人や生業をする人、学校に来る人、公共交通を使う人などが存在し、南富山への関わり方や想いも様々です。一方で、時代とともに解決すべきまちの課題が顕在化し、未来に向けたまちづくりを実現する上では、多様な価値観や考えを認め合いながら、目指すべきまちの姿を共有する“道標”となるものが重要です。

時間とともにまちは成長・成熟し、関わるひとが多様化する。これを踏まえて、未来のまちの姿を考えていくことが大切。



ビジョンの策定に向けて

◎地域住民や駅利用者、関係者との多様な対話

ビジョンの策定に向けては、自治振興会や交通事業者、学校関係者、不動産団体、まちづくり団体、地元商盛會から構成する「南富山駅周辺まちづくり関係者協議会」や、市民や駅利用者などの想いや考えを対話し合う場としての「みみみ（みんなのみなみとやまミーティング）」など、様々な形で多様な価値観や考えを共有し合う取組みを進めてきました。これらの取組みから得た意見や考えなどは、本ビジョンに反映するとともに、今後の取組みの参考とします。

2023
7月

2023
8月

2023
9月

2023
10月

2023
11月

2023
12月

2024
1月

2024
2月

2024
3月

第1回協議会

富山いずみ高校・考える会との協働

課題設定や実証に向けた取組みを支援し、高校生目線によるアイデアの提示

シール投票（6か所で掲出）

南富山に対するみなさんの俯瞰的な印象の把握

まちづくり対話会（全5回の開催）

ビジョンに取り入れる要素やアイデアの拾い上げと共有

第2回協議会

第3回協議会



まちづくり対話会の様子

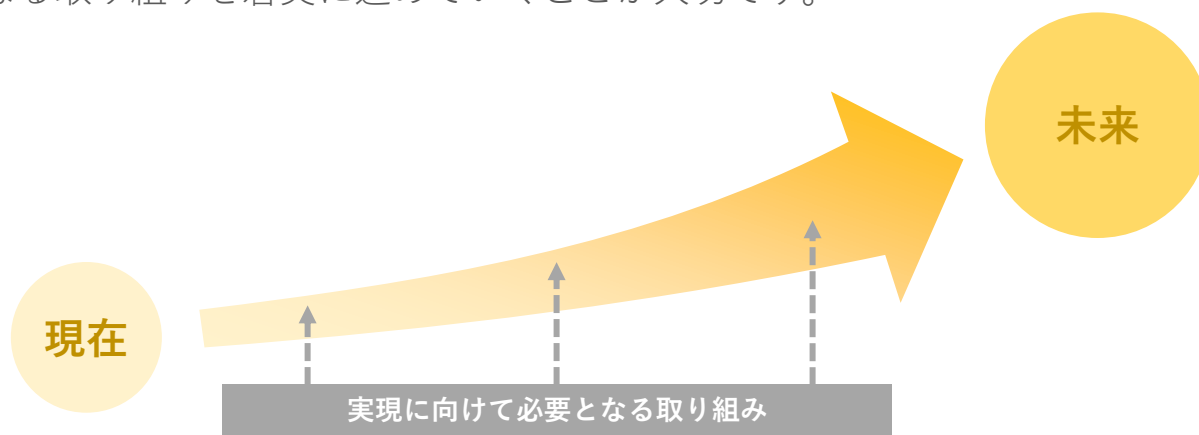
2. ビジョンの概観

ビジョンの目的

南富山駅周辺の10年先を見据え、
活力と魅力あるまちへと再編していくこと

なぜ10年先…？

目指す未来像を描く上では、今を暮らす皆さんが想像しやすく、より良い未来の実現に向けて必要となる取り組みを着実に進めていくことが大切です。



ビジョンに求められる役割

- ① 南富山駅周辺の**これからのまちの方向性**を示すこと
- ② 多様な主体が**共有し合える指針**となること

役割が果たされると…？

本ビジョンが役割を果たすことで、様々な効用があると考えています。このため、南富山に関係する様々な主体への“メッセージ”となることが大切です。

市民にとって

南富山にいつまでも暮らし続けたい、使い続けたいと思える

まちの**未来**が伝わる

民間にとって

南富山の良さが理解でき、新たな活動を生み出したいとなる

まちの**価値**が伝わる

行政にとって

市民や民間と想いを共有し、同じベクトルを向きながら進む

まちの**方針**が伝わる

ビジョンの想定範囲

南富山駅から概ね半径500m

なぜ半径500m…？

半径500mは実際の道のり距離に換算すると約750mとなります。子供や高齢者の歩く速度（約1.0m/秒）では、南富山駅まで約12～13分ほどの距離となり、駅を拠点に、無理なく歩いて暮らせる範囲と言えます。



約12～13分



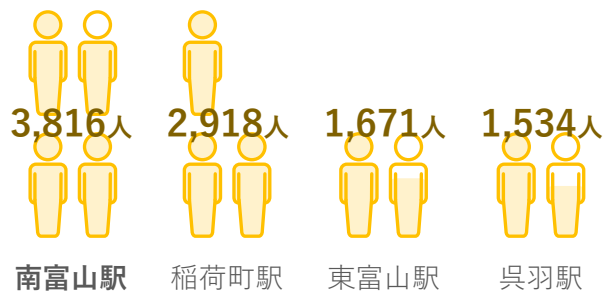
南富山駅から半径500mの範囲

3. 南富山周辺エリアの“現時点”

人口や滞留の状況

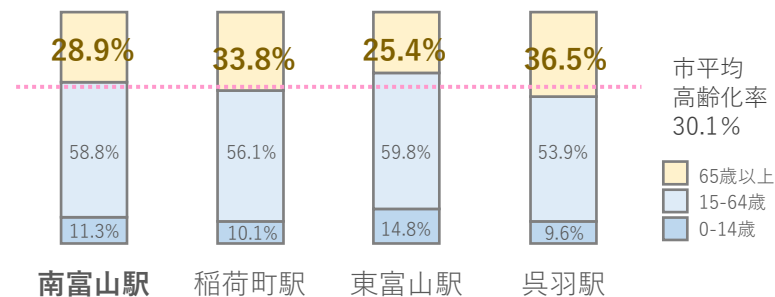
【人口】市内他駅と比べ、人口が集積するなど、拠点性の高さがあります。

各駅から500m圏域の人口



出典：R4.6末時点の住民基本台帳データ

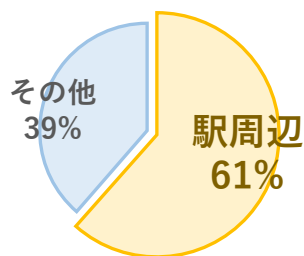
各駅から500m圏域の年齢3区分割合



出典：R4.6末時点の住民基本台帳データ

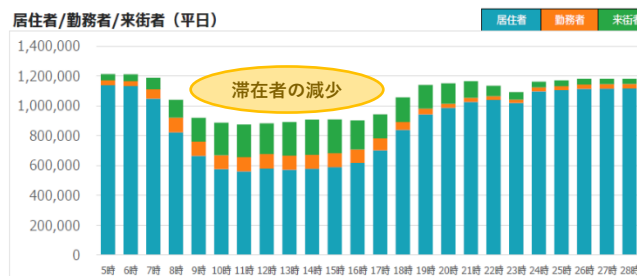
【滞留】駅周辺からの来訪が多いものの、平日日中の滞在が少ないです。

居住地別にみた南富山への来訪者割合



出典：KDDI Location Analyzer (20歳以上のみ) を基に作成
※上位10位までの居住地のみを割合で表記

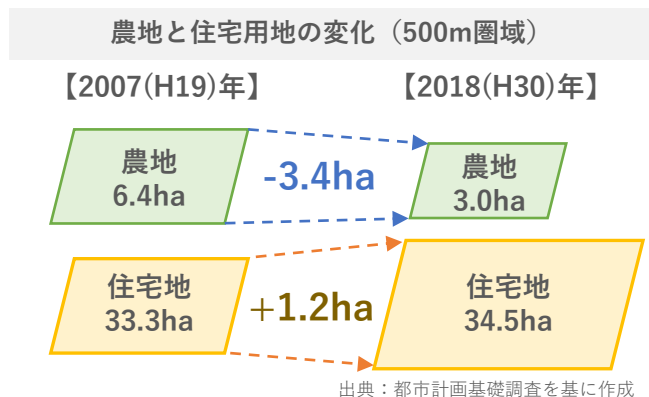
南富山駅から500m圏域の滞留者数（平日）



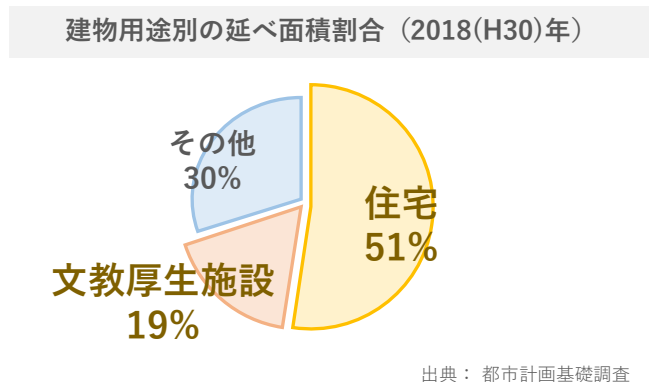
出典：KDDI Location Analyzer (20歳以上のみ)

土地や建物の動き

【土地】住宅用地が充足する一方で、小さな空き地が増加しています。



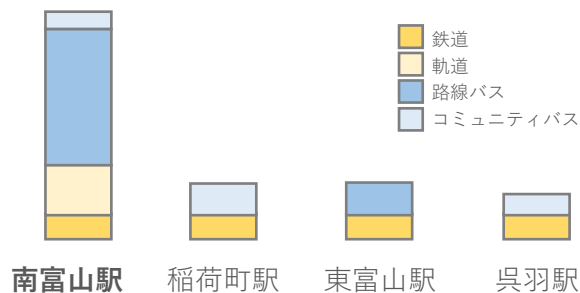
【建物】文教地区で住宅は多いですが、他用途の使い方は停滞しています。



交通環境の状況

【公共交通】多様な公共交通のハブとなり、市内3位の駅利用者数です。

各駅ごとの公共交通結節状況（方面数）



出典：おでかけのりものマップ（R4.6時点）

市内駅・電停の乗降客数ランキング

順位	駅名	乗降客数
1	富山駅	37,378人
2	電鉄富山駅	8,179人
3	南富山駅	3,415人
4	富山大学前	2,835人
5	東富山	2,740人

出典：国土数値情報 ※鉄道と軌道は合算

【道路交通】歩行者の安全性が保たれておらず、狭い道路が残されています。

平日・休日別の自動車交通量の状況



出典：南富山まちづくりを考える会作成

駅前空間及び能登半島地震後の現地写真



人と車が交錯し、狭あい道路では一部で塀の倒壊

南富山に対するみんなの印象

【シール投票の結果まとめ（4,194枚の投票）】

- ① 南富山駅の**公共交通利便性の高さ**を評価
- ② まちの中での**居場所に対するニーズ**が高い
- ③ 駅舎自体は**デザインと機能性の両立**が求められている
- ④ 子どもや学生がいる**文教地区としての地域特性**を評価
- ⑤ 駅前広場や狭い道などの**インフラの弱さや老朽化**に懸念

良いところ（上位5項目）			悪いところ（上位5項目）	
1	時間を気にせず利用できる便利な市内電車		1	古くて電車待ちスペースが小さい駅舎
2	公共交通の乗り換えができて便利な南富山駅		2	少し寂しく、痛みが気になるアーケード
3	友達と自由に使える場所があれば使いたい		3	ルールが分かりづらく危険な駅前広場
4	昔ながらのレトロな雰囲気駅の駅舎		4	狭くて使いづらい道がある
5	学校が近くて子供や学生の顔が見える街		5	遊ぶ場所が公園くらいしかない

南富山駅周辺の“現時点”

南富山駅周辺の“強み”

- 市内の地域拠点では、最も高い拠点性を誇ります。
(人口・公共交通利用者ともに市内有数)
- 文教地区であり、公共交通の利便性の高さから、居住ニーズが高い地域です。
- 民による継続的なまちづくり活動や新たな動きなど、まちに関わる多彩なプレイヤーが存在しています。
- 駅前交通空間やアーケードなどの他にはない都市施設を有しています。

南富山駅周辺の“弱み”

- 通過交通が多く、駐車・送迎スペースなども含め、歩行者の安全性が保たれていません。
- 平日日中の滞在が少なく、地域住民や来街者にとって、目的地になっていません。
- 空き家や低未利用地、狭い道路などが残されたままの住宅地があります。
- 住宅以外では、不動産の動きが停滞し、拠点性の高さが活かしきれれていません。

現時点①

市内3位の乗降客を受け入れる **交通結節力がない**

現時点②

多様な世代や地域特性を活かした **拠点機能が不十分**

現時点③

居住ニーズに応えられない **脆弱な住環境が存在**

現時点④

ひとが訪れ、滞留したくなる **居場所や雰囲気づくり**

4. エリアコンセプトと未来像

市全体のまちづくりからみた南富山

◎まちなかへのアクセス性と地铁不二越・上滝線などの交通結節力の高さ

南富山駅では高頻度に市内電車がアクセスし、乗車時間を気にせずにまちなかへ出掛けることができます。また、鉄道や路線バス、コミュニティバスが結節し、輸送ボリュームや目的・出発地、地域ニーズに応じた移動が可能です。

このことから、まちなかに次ぐ拠点となり得るポテンシャルがあり、公共交通の沿線住民も含めた多様な暮らし方を支えるエリアとしての発展が期待されます。



<市内電車>

5～10分に1本で運行

- ・南富山⇄中心部：約10分
- ・南富山⇄富山駅：約20分

<鉄道>

1時間に1～3本で運行

- ・南富山⇄富山駅：約10分
- ・南富山⇄大山寺：約25分

対話会で得られたみんなの思い

【対話型ワークショップのまとめ（709枚の付箋）】

目的

学生や地域の方が滞在・交流できる

【具体の意見】

・友達とおしゃべり ・学生が楽しめる ・地域住民も過ごしやすい ・遅くまで飲める ・地域のお祭りや地蔵祭り など

誰もが安全に安心して暮らすことができる

【具体の意見】

・子供が走り回れる ・バリアフリーで清潔な歩道 ・雪が降っても支障がない ・地域内での連絡体制づくり など

多様な人が学びやチャレンジできる

【具体の意見】

・学生も大人も学べる ・待ち時間に仕事 ・若い人が戻ってくる ・個店などでチャレンジ ・文化や芸術のまち など

誰が何を
出来るまちに？

目標

子どもから大人まで全員に愛される

子どもや学生が多く見えるまちであり、地域に暮らす子育て世帯やお年寄りも含め、様々な人の居場所があることで、緩やかな繋がりや会話、交流が自然に生まれ、南富山への愛着が育まれていく

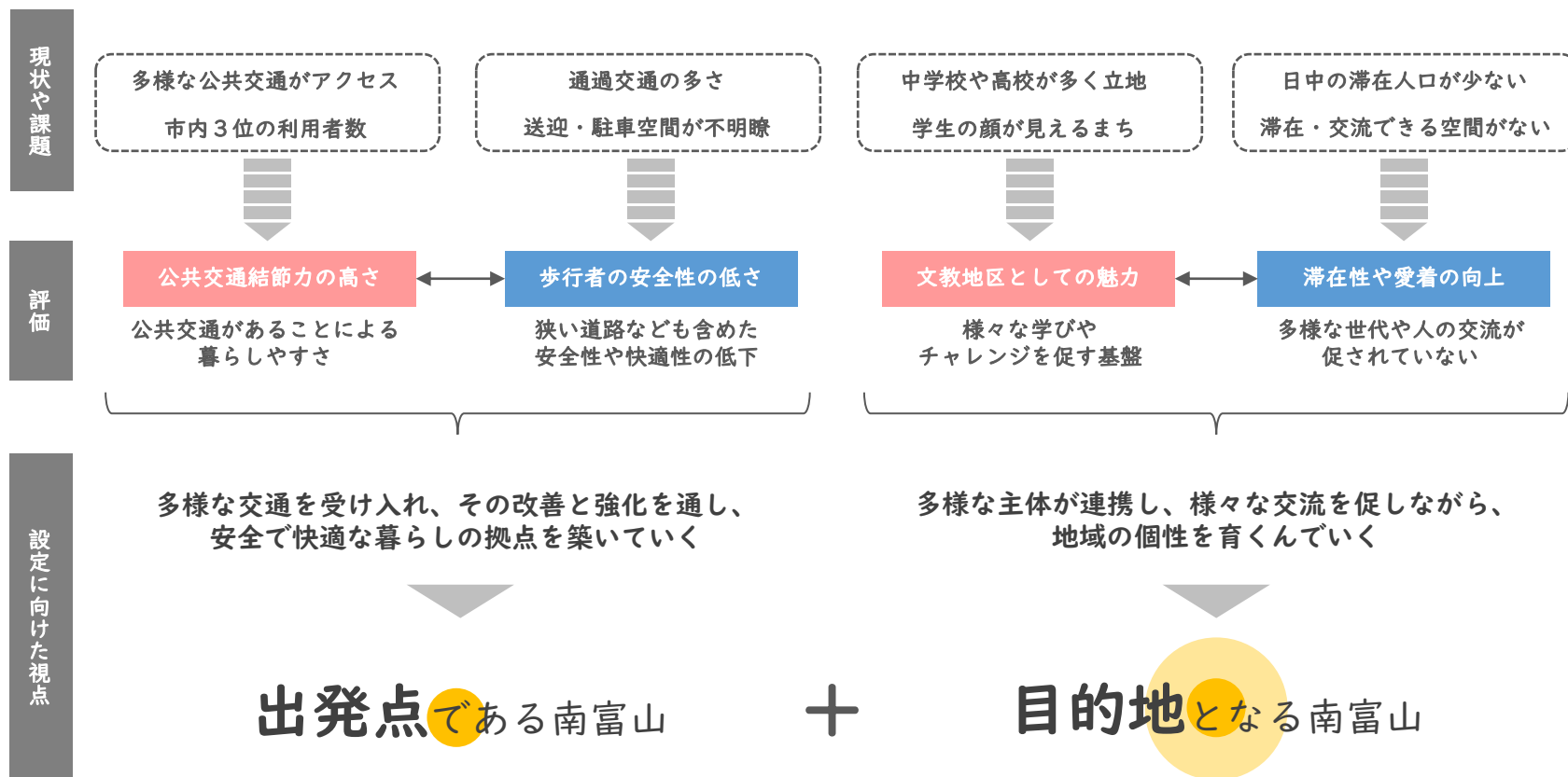
魅力を感じ、時間やお金を消費したくなる

利便性の高い公共交通や文教地区の特性を伸ばしつつ、新たな価値を生み出すことで、南富山の魅力を感じた多様な人が訪れ、時間を過ごすことで、消費行動や将来の新たな住まいの検討、新たな事業への意欲などを促していく

なぜ南富山が
そうなって欲しい？

エリアコンセプトの設定に向けた視点

これまでの分析、みなさんの対話などから得られた現状や課題、評価を踏まえ、市民・民間・行政が協働しながら目指す、エリアコンセプトの設定に向けた視点をまとめます。



エリアコンセプト

エキ、マチ、ジブン。
南富山で始める。南富山から始まる。

南富山は路面電車や鉄道、バスなどの多様な公共交通が交わるまち。
市内有数の文教地区で、多くの子供や学生の姿が見えるまち。

朝夕の通勤や通学、休日の家族とのおでかけ、入学と卒業の出会いや別れ…
毎日、毎週、毎年の暮らしの“始まり”が南富山にある。
これまで南富山で育まれてきた、みんなの暮らしの重なりは、
まちに「懐かしさ」と「新しさ」という彩りを与えてきた。

これからの未来に向けても、駅、まち、自分の“起点”を南富山にしていく。
富山の新たな地域性と価値が生まれるまちを目指して。

目標とする5つの未来像

エリアコンセプトを実現するため、5つのテーマから目標とする未来像を掲げました。

未来像はみなさんの対話などから得られた考えや思いなどを中心に作成し、市民・民間・行政のそれぞれが、自分事として動き出したくなるような未来が想起されるように、イメージスケッチや生活像などを描いています。

エリアコンセプト

エキ、マチ、ジブン。
南富山で始める。南富山から始まる。

目標とする未来像のテーマ

- 1 公共交通
- 2 移動
- 3 居住環境
- 4 暮らし
- 5 付加価値

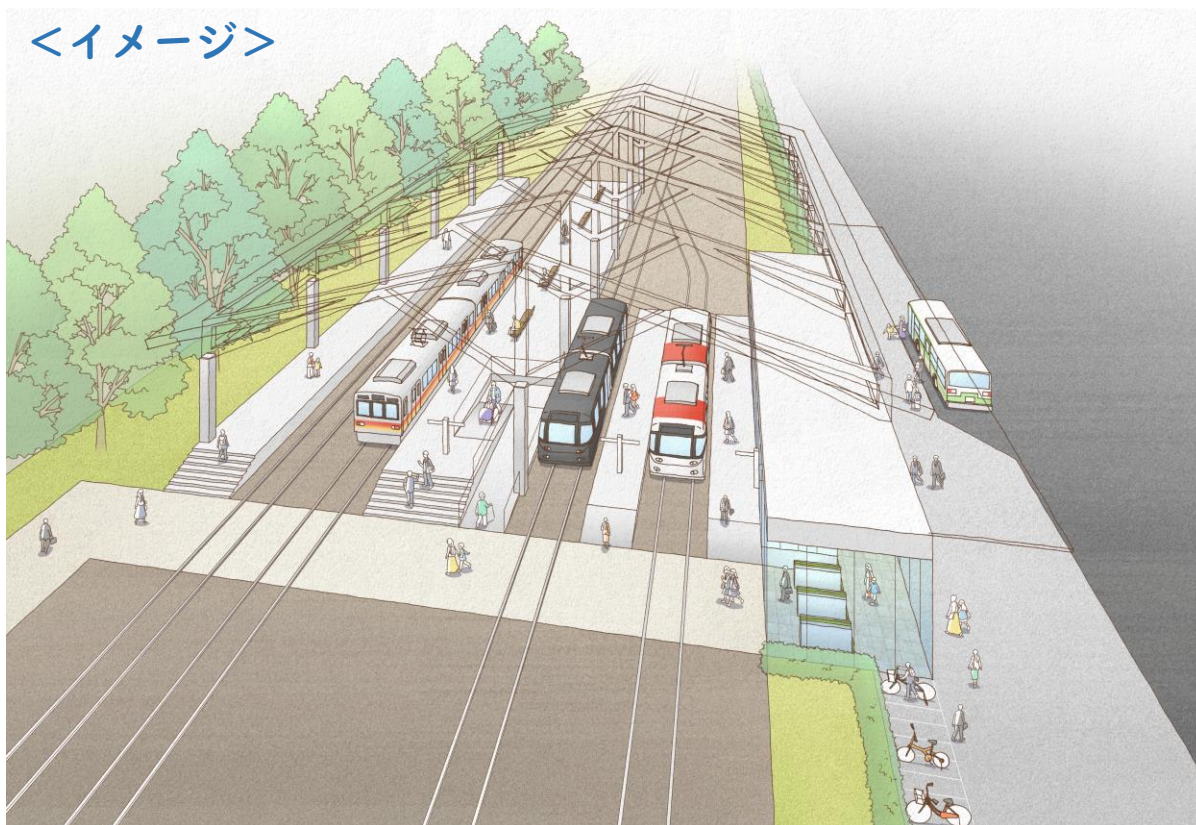


【公共交通】

シームレス(継ぎ目なし)にまちと繋がる

市内電車や鉄道、路線バスなどの結節力と利便性を高め、様々な場所にアクセスしやすい環境の実現を目指します。

<イメージ>



望まれる取り組みや活動

◎公共交通結節機能の強化

鉄道や市内電車など、公共交通相互が乗り継ぎしやすい環境づくり

◎待合環境の向上

公共交通利用時の待合環境や案内表示などの快適性を向上

◎利用しやすい駐輪・駐車環境

円滑に公共交通を利用できる駐輪場や駐車場環境づくり

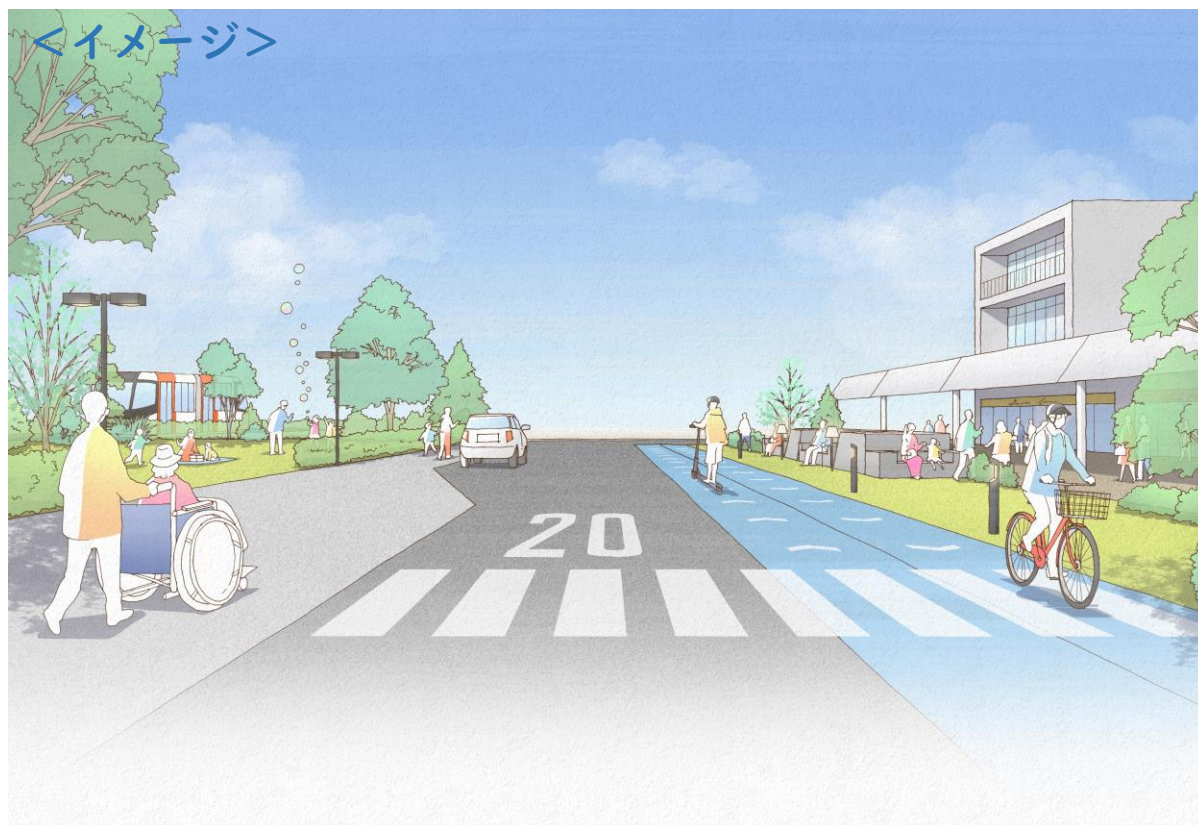
◎地域と公共交通の連携促進

周辺施設と連携したサービス提供など、公共交通利用を促す取り組み

【移動】

誰もが、どこへでも安心して歩くことができる

十分な幅員や段差のない歩行空間がつながり、自動車にとっても安全に移動できる環境の実現を目指します。



望まれる取組みや活動

◎バリアフリーな歩行空間

誰もが安全に歩くことができる歩行空間の確保

◎自動車や自転車との共存

自動車の送迎場所やルールなどが分かりやすい空間づくり

◎周辺道路とのネットワーク

駅前や住宅地内の道路との円滑な交通ネットワークの構築

◎安全で快適な通行の啓発

地域連携による安心して歩ける環境を生み出し、保つための取組み

【居住環境】

住みたい、住み続けたい安全で豊かな環境が整っている

安全に住み続けられるインフラが整い、身近な自然や地域との繋がりが感じられる環境の実現を目指します。



望まれる取組みや活動

◎緊急時にも安全な都市基盤

世帯転入を促し、災害や緊急時も含めた安全に通行できる道路空間

◎身近な自然を感じられる空間

敷地内の緑や街路樹など、季節の移ろいを感じられる環境づくり

◎住民同士の豊かな繋がり

地域行事などを通じた住民同士の繋がりが育まれた暮らし

◎コミュニティを支える仕組み

地域内共助を支えるための産官学民による連携や取組み

【暮らし】

まちの中に自分らしく過ごせる場所や目的がある

日常の暮らしの中で、誰もがいつでも居られる空間や立ち寄りたくなる場所があり、出掛けたくなる環境の実現を目指します。

<イメージ>



望まれる取組みや活動

◎日常の生活で使える居場所

雑談や自習、仕事などが出来る、
毎日の居場所づくり

◎外と繋がる開かれた空間

雨や風等を防ぎながら、建物の中
であっても外部を感じられる場所

◎滞留や来街行動を促す機能

地域の特性やアクセス性の高さを
活かした機能・施設の充実

◎魅力を持続できる運営体制

地域や公共交通利用者等に寄り
添ったサービス提供ができる体制

【付加価値】

新しい学びやチャレンジに触れる、できる、したくなる

多様な世代や主体が協働し、南富山のポテンシャルを活かした新しい価値や意欲が生まれる環境の実現を目指します。



望まれる取組みや活動

◎多目的な利用ができる空間

イベントや地域行事などが自由にできる空間やルールづくり

◎地域内不動産の有効活用

うまく使われていない土地や建物の価値を高める取組みの促進

◎教育機関や企業等との連携

文教地区などの南富山らしさを活かした新たな学びの機会づくり

◎南富山を伝える情報発信

ヒト・モノ・コトの繋がりを育む、南富山の魅力や面白さの発信

未来像の中での暮らし ~南富山で暮らす、南富山を使う1日~



みんなの多様な暮らしが溢れる南富山に



朝は電車通学。
乗り換えがしやすくなって、
傘を差さずに待てるのもいい。



健康のために自転車通勤。
走行場所が分かりやすいし、
駐輪場も十分に有る。



駅周辺でお買い物。
段差もなくて歩きやすいし、
身近な日用品が買って助かる。



学校帰りに友達と寄り道。
前から気になっていた、
新しいお店に行ってみよう。



学校帰りに自習。
Wi-Fiも整ってるから、
テレワークしてる人もいる。



今週末の行事を確認。
駅前イベントがあるから、
友達を誘って行こうかな。

朝

昼

夕方

夜



晴れた日には外で散歩。
自然の中の休めるベンチで、
近所の友達とついつい長話。



休みの日は駅周辺でランチ。
こだわりのお店も増えてきて、
路面電車が走る景色も特別感。



休日に部活のイベント発表。
出店やキッチンカーもあって、
みんな楽しく聞いてくれる。



自分の作品を見に南富山へ。
いくつになっても色々なことに
挑戦できて、毎日が充実。



子どもを迎えに駅まで。
送迎場所が分かりやすいから、
安心して子どもを迎えられる。



馴染の飲み屋で、ちょっと一杯。
電車で通勤してるから、
仕事帰りに立ち寄れていいなあ。

5. ビジョンの実現に向けて

ビジョンの先に

◎実現性の高い計画や事業の構築に向けた取り組み

本ビジョンを踏まえ、将来の具体的なまちの姿を示す計画づくりを始めます。具体には、歩行者と自動車が共存できる環境づくりに向けて、周辺道路も含めたより良い交通ネットワークや、都市機能や施設の配置などの土地利用に関する検討を行います。また、駅前空間での滞留や居場所を創出する社会実験の実施など、スモールステップでの実証や活動を継続し、夢や希望の持てる実現性の高い計画や事業の構築を目指します。

◎持続的かつ付加価値を創出できる仕組みと合意形成

本ビジョンの実現に向けては、地域や事業者、行政の連携が不可欠であり、相互理解を促すための仕組みやルールづくりが必要となります。そのためにも、それぞれの主体性や考え方を踏まえた役割の整理や、まちの魅力を生み出すための空間やデザインなどのルールづくりを検討し、持続的な取り組みや活動の創出に向けた仕組みづくりと合意形成を進めていきます。



6. 參考資料

策定体制・取組状況

◎南富山駅周辺まちづくり関係者協議会

第1回：令和5年7月27日（木）…現状分析、ビジョンの概要、実施体制・スケジュール等

第2回：令和6年1月29日（月）…これまでの活動から得られた市民意見、ビジョン骨子等

第3回：令和6年3月18日（月）…ビジョン案等

所属・役職 ※令和5年7月時点	氏名（敬称略）
堀川自治振興会 会長	村家 博
堀川南自治振興会 副会長	大山 淳子
富山地方鉄道株式会社 企画部副部長兼企画交通政策課長	吉川 護
（公財）富山県宅地建物取引業協会 富山支部長	布目 大
（公財）全日本不動産協会 富山県本部 専務理事	高寄 誉史
南富山まちづくりを考える会 会長	松山 朋朗
南富山商盛会 会長	小畑 信之
富山市立堀川中学校 校長	大久保 秀俊
富山県立富山高等学校 校長	佐野 友昭
富山県立富山いずみ高等学校 校長	越後 喜紀
東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授	真野 洋介



策定体制・取組状況

◎シール投票

掲示場所：南富山駅、大阪屋ショッピング下堀店・太郎丸店、
市立堀川中学校、県立富山高校、県立富山いずみ高校
掲出期間：令和5年9月12日（火）～9月末ごろ

◎南富山駅周辺まちづくり対話会

(1) 交通・駅前空間編（広く市民や駅利用者などを対象）

第1回：令和5年11月26日（日）「理想の姿や使われ方を考えてみよう」：19名

第2回：令和5年12月17日（日）「理想を現実にするためのアイデア」：16名

(2) 暮らし編（駅周辺の町内会を対象）

第1回：令和5年11月26日（日）「南富山駅周辺の暮らしを考えてみよう」：14名

第2回：令和5年12月17日（日）「暮らしやすい理想のまちを考えてみよう」：9名

(3) 合同開催

第3回：令和6年2月23日（金・祝）「ビジョンについて対話しよう」：25名

◎その他の活動

(1) 富山いずみ高校における総合的な探究の学習（南富山まちづくりを考える会との協働）

…南富山を題材に、生徒自らが良さや課題を把握し、その解決に向けた検証と提案を支援

(2) ニュースレター（みみみニュース）の発行：全4回

(3) 南富山駅周辺事業者へのアンケート調査：8事業者より回答

(4) 富山いずみ高校生へのヒアリング

MINNA

MINAMI-TOYAMA

MIRAI

南富山駅周辺
まちづくりビジョン

2024.4月公表

【協力】東京工業大学真野研究室

【編集】富山市活力都市創造部都市計画課